

○ ICTを用いた生産性向上 「3D技術を用いた体験型現場教育システムの開発」

株式会社 浅沼組

株式会社浅沼組(代表取締役社長・浅沼誠)は、中期3ヵ年計画における「ICT活用による生産性向上」および「優秀な人材の育成(研修の充実)」の一環として、この度技術研究所において3DモデルやVRを用いた体験型現場教育システムを開発しました。このシステムは入社1～2年目の社員を対象に、S造研究開発施設、RC造集合住宅をはじめとする様々な種類、用途の建物の施工工程を通して品質管理や安全管理の基本をより現実に近いかたちで学べるものとなっています。また、このシステムからは施工工程を映像化することが可能で、今回技術研究所の増築に合わせ、杭打ちから鉄骨建て方や足場解体、内装仕上げまでを3D映像化し、各工程における重要な管理手法などの研修に利用しました。このS造の工程管理に加え、今後はRC造にも対応し、土木工事においても順次様々な工程が体験できるように対応していく予定です。

この教育システムの3D技術の応用やVRによる疑似体験により、従来の口頭や資料だけの研修からビジュアルな体験型研修とすることで、受講者の理解をさらに深め、隠れた危険や品質のチェック項目の見える化が可能となり、品質および安全管理等の研修効果を高めるものと考えております。

この度インターンシップおよび内定者説明会において、本システムを活用しました。聴講した学生の理解をさらに深め、施工管理部門における人材確保および育成への効果も期待できると考えております。

今後はさらに開発を進め、習得度合いによってバーチャル現場が切り替わる機能の追加や、Eラーニングなどにも対応できるようにしていく予定です。一方、同業他社との連携につきましても、今後検討を進めていく方針です。

【特長】

- 1) 作業工程を3D映像化することで、建設の流れを容易に掴むことができます。
- 2) 3Dバーチャル現場のウォークスルー体験により、様々な現場を短期間で体験できます。
- 3) クイズ形式の演習と解説により、知識としての品質および安全管理等(QCDSE)の学習が可能です。

【記事に関するお問い合わせ先】

株式会社浅沼組 本社技術研究所調査研究グループ 松井亮夫
〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3-24-1 TEL 072-661-1620



トレーニングアプリのトップ画面と出題画面



S造 バーチャル現場



RC造 バーチャル現場



跨線橋橋脚 バーチャル現場



詳細施工手順の確認



学生向けウォークスルー体験